

令和8年度

第2回竹島問題を考える講座

大田地区
会場

演題 「今なぜ、竹島問題か」

「中華民族の偉大な復興」を唱える中国の習近平政権は台湾侵攻を画策し、尖閣諸島を狙っている。「偉大なロシアの復興」を夢見てウクライナに侵攻したロシアのプーチン大統領は8月13日、初めて択捉島に上陸した。その遠因となったのは島根県の「竹島の日」条例である。韓国では日本は過去を反省しない侵略国家だとし、中国はそれに倣って尖閣諸島の奪還を偉大な復興の一つとすると、それにロシアが便乗して北方領土がロシア領となったのは「第2次世界大戦の結果」として、歴史戦が始まっていたからだ。

講師 ^{しも じょう まさ お}
下 條 正 男 氏

島根県立大学客員教授、拓殖大学名誉教授

日時 令和8年11月7日〔土〕 午後1時30分～午後3時

場所 島根県立男女共同参画センター あすてらす 研修室1
(島根県大田市大田町大田イ236-4)

主催 島根県

定員 40名(受講料無料・先着順)

【講師紹介】

1950年長野県生まれ。國學院大學大学院博士課程修了。1983年韓国三星綜合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て98年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、2000年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授を歴任し、2021年3月に退官。現在は島根県立大学客員教授、東海大学客員教授、拓殖大学名誉教授を務める。専攻は日本史。第1～第6期島根県竹島問題研究会座長。著書に「日韓歴史克服への道」(展転社)「竹島は日韓どちらのものか」(文春新書)「竹島 VS 独島」(ワニブックス)他。



【お申し込み方法】 申込期限：令和8年11月6日(金)

下記申込書を「竹島資料室」宛に、郵送またはFAXでお送りください。
電子メールの場合は「第2回竹島問題を考える講座申込」と明記の上、
名前と電話番号を送信してください。島根電子申請サービスからもお申込み可。→



【申し込み先・問い合わせ先】

島根県総務部総務課 竹島資料室 〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁舎第3分庁舎

〔TEL〕0852-22-5669 〔FAX〕0852-22-6239 〔E-mail〕takeshima-shiry@pref.shimane.lg.jp

キリトリ

令和8年度 第2回「竹島問題を考える講座」申込書		
(ふりがな) 名 前	電話番号	
次回講座案内 (どちらかに○)	不要・要	<送付先> 〒

※提供していただいた個人情報につきましては、考える講座開催のみに利用します。